



Nature News

撮影：2023年12月11日 網張の森

～・葉痕の観察・～

葉痕とは、葉っぱが木の枝から落ちた後に、枝に残る傷跡のことです。葉痕をよく見ると、円形やハート形などの傷跡の中に、ポツポツと斑点が付いているのが分かります。これが、目や口、鼻のように見えて、葉痕全体が人や動物の顔のように見えるものがあります。この斑点は、維管束という水分や栄養分の通り道の跡です。維管束の形状は植物の種類によって異なるので、葉痕も植物によって違う顔になります。また、同じ植物でも葉痕ごとに少しずつ顔の表情が違います。泣いているように見えたり笑っているように見えたり、実に表情豊かなことに驚きます。

参考：HondaWoods HP ○で囲んだものは冬芽



2023年4月12日撮影

キハダ (ミカン科)



オオカメノキ (スイカズラ科)



ツリバナ (ニシキギ科)



ホオノキ (モクレン科)



ヤマウルシ (ウルシ科)



オオバクロモジ (クスノキ科)



トチノキ (ムクロジ科)



ハリギリ (ウコギ科)



キブシ (キブシ科)



コシアブラ (ウコギ科)

森の様子や散策コースについてお気軽にスタッフにお声がけ下さい。